

学校名	京都廣学館高等学校(全日制課程)
所在地	京都府相楽郡精華町下狛中垣内48
電話番号	0774-93-0518

(1) 建学の精神	・教育理念『人間の能力は生まれつきのものではなく、その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる。』 ・学園訓『愛・信・敬』『他人（ひと）を愛し、他人を信頼し、他人を尊敬する、人間（ひと）に私はなりたい。他人から愛され、他人から信頼され、他人から尊敬される 人間に私はなりたい。』 ・教育の目的『愛情と信頼と尊敬に満ちた教育を通じて、個性を伸ばし、能力を開発し、自立と向上心ならびに互助協力の精神を培わせ、徳・体・智の調和のとれた人格の形成を図り、平和で民主的な国家及び社会に貢献できる人間を育成することを目指している。』						
(2) 本校の特色及び 将来展望	・本校は、関西文化学術研究都市のエリア内に位置し、本校が指定する教育区域における学びのセーフティーネットという社会的役割を担う。 『人間力を鍛える場』とし、教育理念の具現化に向け、『徳・体・智』の調和をもとに、基礎力を定着させ、社会規範を学ばせ、社会の一員としての自覚をもたせ、社会に参画する姿勢を育てるなど、創意工夫ある教育活動を展開し、生徒の希望進路の実現を目指す。 ・建学の精神を前面に押し出した教育活動をととして、生徒の個性や能力の伸長を図り、一人ひとりを大切にし、丁寧な指導を行うことにより、生徒の希望する進路を実現させ、社会に貢献できる人材の育成を目指す。						
(3) ・令和6年度納付金 ※学科やコースによって 納付金に差異がある場合 は最低額を計上。 ・今回改定 あり なし ・前回改定 令和4 年度	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料
		100,000	50,000	564,000	132,000	696,000	20,000
	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	
				564,000	132,000	696,000	
	【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	
				564,000	132,000	696,000	
	*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。						
・今後の納付金に 対する考え方	令和4年度の新入生より納付金の改定を行った。しかしながら、昨今の物価の高騰,光熱費の上昇や働き方改革の推進に伴う外部指導者増員による人件費の増加、校舎等施設の老朽化による改修や更新に係る費用の増加など、今後も支出の増加が見込まれ、学園運営を圧迫する厳しい環境である。そのなかでも業務の合理化や効率化を進め、諸経費の支出を抑制するよう取り組みを行うとともに、本学園の教育内容を中学生・保護者等にしっかりと発信し、より多くの入学生を確保することで財政基盤の安定化につなげ、平和で民主的な国家及び社会に貢献できる人材を育成するという本学園が果たすべき役割を推進していく。						
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	・教育内容については、3学年2コース（アドバンス・ジェネラル）制で編成し、また、放課後等では、大学や看護系進路への合格を目指した講座、英語検定や漢字検定等の講座、基礎学力の補充のための講座等を開講することにより学力の伸長、生徒の希望する進路実現につなげている。また、専門学校の出前授業、職業教育の充実等を図っている。また、クラブ活動等の課外活動の充実に対しては外部施設の利用や外部指導員の活用を行っている。施設設備面では、①ビッグパット・アイパットの導入等のICT教育の推進②非常食・飲料水の備蓄等の防災対策③防犯カメラの設置による安心安全な学習環境④食堂の厨房等の衛生面の向上⑤各教室や体育館の空調設備の整備・更新など、環境整備に取り組んでいる。						
(5) 令和6年度の保護者 負担軽減策及び考え方	・学園の「授業料等減免に関する規程」に則り、京都府の「あんしん修学支援制度」の対象となる保護者等負担軽減に積極的に取り組んでいる。 その他、学校独自の奨学金制度は以下のとおりである。 (1) 学業奨学生 (2) クラブ奨学生 (3) 兄弟姉妹等在籍支援（兄弟姉妹等が本校及系列校に在籍している者） (4) 卒業生子弟等支援(親及び兄弟姉妹本校及び系列校を卒業している者) (5) 経済的理由による支援（入学後に保護者等が死亡又は長期傷病の者、災害の罹災者）						
(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画	・学園の中期・長期計画に基づき、建学の精神に基づいた教育の具現化を実現し生徒や保護者等より選ばれる学校を目指す。財政面にあっては、厳しい状況下であるが、上記（5）の保護者等負担軽減策の取り組みを継続して行っていく。						